

今年のは「つなぐ、国見のたからもの」のたからもの〜伝えたい瞬間は突然に〜をテーマに、「くにみのたからもの！部門」とフェイスブックを活用した「キセキの瞬間！投稿部門」の2部門で募集しました。

「くにみのたからもの！部門」の審査会は3月7日に行われ、審査委員長

の清野真紀子一科会写真部福島支部長ら委員による厳正な審査の結果、次のみなさんが入選しました。

入選作品の展示▼【4月7日(日まで)】観月台文化センター、【4月8日(日)から19日(金)】福島信用金庫国見支店、【4月22日(日)から5月10日(金)】国見郵便局、【5月13日(日)から31日(金)】国見町役場

※休業日などを除く。



最優秀賞 『千客万来』 坂本礼三さん (福島市)

つなぐ、国見のたからもの — 伝えたい瞬間は突然に —

第23回国見町フォトコンテスト審査結果発表

くにみのたからもの！部門 (応募総数 81 点) ※敬称略

入選	タイトル	氏名	住所
最優秀賞	千客万来	坂本 礼三	福島市
優秀賞	嫁ぐ日	吉田 光江	国見町
優秀賞	中尊寺ハス	熊田 行雄	鏡石町
福島民報社賞	還御	斎藤アイ子	国見町
福島民友新聞社賞	あんぼ柿作り	小田島守明	郡山市
入賞	御堂も秋のたたずまい	菊地 富子	国見町
入賞	あつかしの郷をつつむ	山田 博明	伊達市
入賞	激突の一瞬	馬場 正幸	福島市
入賞	春爛漫	工藤 るみ	宮城県
入賞	義経公いざ出陣ウォー	氏家 勝治	二本松市
佳作	今日は楽しいねえ。	齋藤 広明	伊達市
佳作	田園地帯を覆う白雲	八島 信夫	伊達市
佳作	浄土のしずく	木村 東仁	岩手県
佳作	あつかし山に咲く大輪	大島 市郎	会津若松市
佳作	青い光の中で	吉田 次夫	国見町



優秀賞 『嫁ぐ日』 吉田光江さん (国見町)



優秀賞 『中尊寺ハス』 熊田行雄さん (鏡石町)

キセキの瞬間！投稿部門・最優秀賞 (応募総数 29 点)

<p>I シーズン (4-6 月期)</p> <p>『戯れ』 高野歩夢さん (伊達市)</p>	<p>II シーズン (7-9 月期)</p> <p>『夕焼けの中で、』 鈴木俊博さん (国見町)</p>	<p>III シーズン (10-11 月期)</p> <p>『今年もビッグな里芋畑』 八巻忠一さん (国見町)</p>	<p>IV シーズン (12-2 月期)</p> <p>『春の訪れ』 高野歩夢さん (伊達市)</p>
---	---	---	---



【国見カスタムラボとは】
高校生から社会人まで幅広い世代の人が集い、この国見町でやりたいことを自由に企画・実行し、



Kunimi højskole

あふれるアイデアをカタチにしている。
それが「国見カスタムラボ」です。



KUNIMI CUSTOM LABO

MOGUMOGU

歩いて、描いて、くにみんか

国見カスタムラボは3月10日、グルメウォーキング&古民家体験イベント「歩いて、描いて、くにみんか」を開催しました。イベントには約30人が参加。参加者は、観月台文化センターを出発し、約3kmのコースを歩きながらゴールの古民家を目指しました。道中に設けられた休憩所では、国見町に関するクイズに挑戦。正解者には町特産のグルメが振る舞われるなど、参加者は春めく国見町の風景と町自慢の食を堪能しながら、ウォーキングを楽しみました。

古民家に到着すると、特設の「足湯」と、いっぶくの会(塚野目)のみなさんが腕を振るった家庭料理の「おもてなし」で疲れを癒しました。

このイベントは、地域の資源を活用しながら町の魅力を発信しようと、国見カスタムラボメンバーが企画・運営したもの。工夫を凝らして創り上げた非日常の「癒しの空間」に、参加者も大満足していました。

Interview ラボメンバーの声



国見カスタムラボメンバー
菊谷 英太さん
(福島大学 人間発達文化学類 4年)

ラボは興味・関心に 応えてくれる場所

1年前に国見カスタムラボが企画したイベントに参加したことがきっかけでラボメンバーに参加しました。国見カスタムラボは、学外でさまざまなことを学ぶことができる貴重な価値ある場です。活動を通して出会った人や学んだことは、必ず今後につながります！

※学年は取材当時

友人に誘われて参加しました。実際に歩くことで、車で通り過ぎるだけでは分からない魅力に気付くことも多く、楽しかったです。どのグルメもおいしかったです。特に「いか人参」と「ブランドケーキ」がお気に入りです！



参加者
野田 祥子さん
(福島大学 行政政策学類 3年)

参加者
国分麻里奈さん
(福島大学 行政政策学類 3年)

Interview 参加者の声